

## バイオエタノール製造工場見学で見た物



左記写真は大阪府堺市に出来たバイオエタノールの製造工場です。この施設は家屋廃材を利用して、木材廃材からエタノールを取り出します。一日約100～150トンの木質の家屋廃材が必要です。その家屋廃材の内60%が廃材を燃やし工場を運転する燃料になります。残り40%がバイオエタノールになります。八月一日から稼動していますが十月十日現在出荷はされていますが生産量の極僅

かです。我々が出した税金の程、活動し社会に対する貢献は現実には出来ていません。

この施設がこれからの日本の環境問題と資源問題を解決する一つ的手段だと聞きましたが、二つの疑問が頭を過ぎりました。というのは、生産量の極僅かしか出荷出来ないのはどう言う理由なのか。又家屋廃材を燃やすのに、何故温暖化防止に繋がると言うことです。

最初の疑問は中々出荷出来ないという事です。石油連盟が反対して中々出荷が出来ないのと言うのなら、はなはだ税金の無駄使いではないですか。この施設は国から**十八億の補助金**が出ているのですよ。税金が出ているのですよ、堂々出荷するべきだと思います。次の疑問は家屋廃材を燃やして出るCO2は事実上カウントしないのだそうです。本当にそうだと皆様は思いますか。

話は少し変わりますが、先月号で取り上げた建築基準法の改正は即、建築確認申請に対するコストが上がり、家の価格上昇に繋がっています。そして国民生活を圧迫しています。そして現在建築に携わる人たちは大変な迷惑が発生し混乱しています。しかし片方国民の貴重な税金を使い出荷のしにくい施設を作るのは、正しいのでしょうか。石油連盟が反対することは最初から解かっていたはずです。又建築基準法の改正も、混乱を招くのは解っていた筈です。

私はこの施設の見学で感じた事は、国は何をするにしても、もっともっと国民に詳しく説明してから、政策を実行して欲しいと思いました。



左記写真は建築廃材を粉砕する工程です。大変品質が悪い建築廃材です。予断の話ですが大変臭いが臭かったです。

(一部の人間が儲けているとしか思えない光景でした。)

# 大手住宅メーカーの狙いと本当の森林家の言い分

ある住宅メーカーは仕入れする木材全体に対して、原産地の証明を求めています。その理由は環境破壊に繋がらない素材のみを扱うということだそうです。しかしその会社の戦略の意味が一体何なのかよく理解出来ません。というのはそのメーカーの系列会社はロシアに自家工場を建設しています。そこで調達する資材は全て、森林認証材のみを使うと言っているのですが、本当にそれが可能だとは私は思いません。というのは、ロシアは完全な民主主義国家ではありません。ロシア産の原木は全て国有林です。その国有林の木材資源の伐採のライセンスを、特定の業者のみに発行し、将来伐採する原木を含めた森林に森林認証のお墨付けを与えている。これが実態なのです。

ここで少し話を変えて国産材に目を移すと、国内で森林認証を受けている森林家は、日本国全体の森林面積から見ればほんのごく僅かの面積しかありません。又三重県のある森林家は森林認証を取る意味が無いと言っているのを聞いたことがあります。この考え方は、アメリカの森林家も同じ考えです。アメリカの森林家も日本の森林家も自分で自分の山の木を、切って販売して何処が悪い。

何故多くの手間隙及びコストをかけなくてはならないのかと言っています。皆様よく考えてください。日本国内で生産される杉・檜は違法伐採では有りませんね。江戸時代から代々続けてきた、森林家は自分の森林は自分で守り、自分で生産してきたのです。

## 計画伐採と森林認証は並び立つ

計画伐採とは、成長した立ち木の量に、見合う立ち木しか伐採しない事です。アメリカは全て計画伐採です。少し相場が高くなったから、予定以上の立ち木を伐採はしませんし、又冬寒くなるのが遅かった四、五年前は極端にハードメープル材（立ち木の伐採に入る手前の土壌が寒くない為ぬかるんで伐採が出来ない。決して無理して伐採しない。今年が駄目でも来年があり、森林は100年単位で生産する物で有ると言う哲学。又メープル材が無いなら違う樹種を使うと言う習慣が有る。これが本来の人間の行うべき事です。）が不足した事も有りましたが、騒いでいるのは大して多くのメープル材を輸入していない日本だけでした。計画伐採というのは、森林を何百年の単位で考え、森林の恵みしか伐採しない、所謂人間本来の道徳ではないかと思えます。

又アメリカでは、広葉樹に携わる人間の多くにアーミッシュがおり、彼らの持っている森林は凄く広大な面積を持っており、それらを含めた広葉樹の森林を100%森林認証することは、不可能ではないが、凄く手間隙が掛かり、現実的にはもう少し先になるのではと聞いています。又アーミッシュと言う昔ながらの電気に依存しない生活を送っている者は、少し相場が高いからと言って多くの立ち木を伐採はしません。それが言わば森林に対する道徳心に繋がっていると聞いた事があります。

森林認証とは「持続可能な森林経営の基準・指標」にしたがって森林経営が行われていることを第三者機関が評価・認証する制度です。しかしこの第三者機関その物が、本当に正しいのでしょうか。私はそこに少しの疑問が有ります。と言うのは、カナダに頻繁に木材の買い付けに行っている知人に聞いた話ですが、認証機関が、製材業者に何らかの圧力を掛けていると言うのです。その圧力とは、お金と引き換えに森林認証ををすると言うのです。第三者期間は中立な立場でなくてはならないです。それが少し捻じ曲げられていると聞いています。従って前の記事でも有りますが、同じ様な考えの日本の三重県の森林家は、あえて森林認証を取らないの

が、よく解ります。

又今回のサブプライムローン問題で解かるように、格付け機関が金融機関と結託しているのではないかと、言う噂が有り大衆消費者の中に動揺が出ているのは理解出来ます。**森林認証制度も格付け機関が本当に公正中立なのかと考えると少し問題が有ると思います。**

## 関税を大幅にアップするロシアと建築との関係

ロシア政府は2009年から、ナラ・タモ等の原木の輸出関税を現在の20%から大幅に80%に上げるとの動きに出ていると聞いています。その理由は先に述べた記事にも有りますが、外国の木質系メーカーを地元へ誘致して、国内の人を雇用させ、そして技術を盗み、世界的にマーケットを押さえようとする国家戦略だと聞いています。何せ300年以上の樹齢の高価な広葉樹の立ち木をアメリカ以上に持っている国はロシアしかないのです。アメリカ広葉樹製材品を製材している原木の平均樹齢は約100年と聞いています。【先月号の記事を思い出して下さい。良材の板の木口を見てください。目の細かい木の板は木目は非常に美しいし、狂いも少ない。】

建築基準法の改正で木造三階建ては、かなり建築するのは難しそうです。骨組みを鉄骨で、建てる時は、もっぱら内装に木をふんだんに使いたいです。しかし木材資源も石油資源と同じ道を辿っています。資源を持っている者が、一方的に支配しようとしているのです。

これが、現実の木材供給側の状態です。もしこの事を承知して頂けるのなら、平均寿命30年の家を建てる日本のシステムを改めてせめて欧米並みの70年から100年持つ家を作りたいと思います。

右記の写真はロシアのバイカルからはるばる中国に運ばれて来た欧州赤松を一杯に積んでいる貨車です。

近い将来、逆にロシアから製材品もしくは完成品になって、コンテナの貨車で欧州等に輸出されるでしょう。



## 家を買うのは今がチャンスなのに。

十月になっても木材製品の荷動きは停滞したままです。建築基準法の改正、定率減税の全廃等の不確定な要素は有りますが、材木屋の立場から見れば、絶好のマイホームを手に入れるチャンスだと思います。何故かと申しますと、木材価格は実質大幅な値上がりしていますが、中々値上げが出来ないのです。日本国内の住宅のマーケットは、東京圏を除けば新規住宅着工は大変減少しています。それが木材の荷動きが非常に鈍い事に象徴されています。又木材の値上がりは、食料品並みに値上がりしているのですが、六月以降の余りの荷動きの悪さで、現実値上げが出来ないのです。そして儲けが無くて、仕方なく売っていかねばならない状況なのです。しかし片方、今の資源輸出国に目を向ければ、先の記事でも解かる様に、木材資源も石油同様、資源ナショナリズムの台頭で、ただ単に原木を輸出するより国内の人の雇用を考えた政策に変更され、日本人が好む資材を簡単に手に入る時代は終わったと思います。

又世界的な環境問題、所謂温暖化の問題で、世界中の森林も、完全に計画伐採の時代にこれから入ると思われます。(森林認証と計画伐採は分けて考える必要があります)その現われが、先ほどの記事にも有りますが、大手建材メーカーの動きだと思います。

日本国内の在庫調整は、私の思っていた時間内では、片付かないかも知れません。来年三月位迄で終わらないかも知れません。だから今がマイホームを手に入れるチャンスだと思います。



ところで食料品は十月から年内に掛けて10%~20%の大幅な値上げを打ち出していますが、建築するコストが大幅な値上がりをするのは、来年後半でしょう。その理由は在庫調整も終わり、建築基準法のややこしい事も、建築士さんの理解も終わっていると思うからです。

## 開催出来なくなった美原木材祭り

右記の写真は去年の10月末に行われた堺市の美原木材団地で行われた木材祭りの写真です。入場者は主催者側発表では二日間で約一万人が来場されました。弊社はこのイベントに5回出展しました。

木材に親しんで頂く為に、本物の端材を出品しました。端材を買って頂いたお客様が、約五名程端材ではなく本物の板を買いに服部商店に来てくれました。

そのお客様が言うには同じ端材でも凄く商品が良いと、従って本物の板なら間違いなく良いと言って買いに来てくれました。



この美原木材祭りは25回でお終いになりましたが、凄く一般消費者の方には貢献出来たと思います。又木材祭りを楽しみにしてきたファンの数は数えられないくらい多くなったに違いありません。

このイベントが無くなった事を非常に残念に思っていますし、我々木材に携わる者が、木の良さを伝える機会をなくした事が、凄くマイナスになりはしないかと危惧します。

美原木材祭りが出来なくなった理由は、この新聞では書きません。しかし木材業界全体が潤っていれば、決して無くなりません。その辺は察知してください。

## 木材祭りみたいなのを一緒にできないかなと思います

美原の木材祭りが無くなりましたが、私は祭りと言うほど、大げさでは有りませんが同じ様なイベントが出来ないかと思っています。というのは服部商店で主に建築士さん向けの勉強会を今年二月と七月に開催しましたが、本当に木材の良さをお伝えできたのかなと思っているからです。そして、消費者目線で見るとき、何か遊び心が欠落しているのではないかと思います。それだったら、一般消費者をできるだけ大勢集めて、消費者が木材に対してどういう考え方をしているのかを、建築士さんも一般のお客様に混じって見て、聞いて、感じて頂けるのなら面白いのではないかと考えたからです。

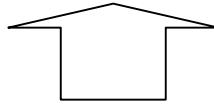
開催する場合は、弊社の商品以外にも希望する会社の商品を自由に展示、販売していただきたいと思っています。そのイベントをする場合の最低条件は①ただに近い場所代 ②雨の掛からない場所 ③トイレの三つの条件だと思います。

以上の条件をクリア出来る場所は服部商店の本社ではないかと考えました。約1000坪の場所があります。場所代は必要有りません。②と③の条件もクリアします。仮に他に色んな問題が合っても皆様で知恵を借りれば開催出来ると思います。是非皆様の知恵をお貸して頂ける様お願いいたします。別紙にアンケートを入れますので宜しくお願いいたします。

**集客は新聞に折り込みを入れようかと考えています。**

集客は広告宣伝に尽きます。これだけは弊社の力だけでは限界があります。参加者の方からわずかでも負担金の拠出をお願いします。

**FAX番号072-422-8577**



アンケート1 木材祭りに参加しても良い

はい

いいえ

アンケート2 1の質問ではいの方に新聞の折込みに対して一口5,000円の協力をしても良い。(新聞の折込み代の応援して頂くお金に使います。)

はい

いいえ

アンケート3 何か面白いアイデアが有れば教えてください。

お名前	
連絡先ご住所	
お電話番号	
携帯電話の番号	

(株)服部商店

服部雅章

2007.10.25

## ソーシャルネットワークシステム（SNS）に参加しませんか

ソーシャルネットワークシステムと言っても、理解して頂ける方は極僅かしかいないと思います。（ソーシャルネットワークシステムを以下は略して SNS と言います。）

新聞紙上でインターネットの特徴である匿名性の行き過ぎで、犯罪が多発するのを最近よく見かけます。

そしてこれからメールマガジンさえも法的規制を受けようとしています。言わばインターネット経由で、個人情報への一方的な情報の押し付けに待ったを掛けようとしているのです。

しかしこの SNS と言うのは従来のインターネットのやり方とは全く違うのです。

この SNS はインターネット網を利用したコミュニティーの双方向通信ツールです。

例えば、『 会員の中でこの情報は、誰にでも見せても良いが、これ以上の事は利害関係が有り、特定の仲間しか見せられない。 』と言う事が出来るシステムです。

更に、安心できる環境の一つとして『 信頼できる知人を紹介し、又、別の言い方をすれば、紹介がないと入れないサイト 』という事です。

この SNS と直接関係しない話ですが、私は建築士さんのご苦勞を、この間お聞きすることが有りました。

それは分譲の住宅建築の設計で、大手デベロッパーから大幅な値引き『1200万掛かる設計料を800万にしろ…それでする建築士がいるぞ…』を要求された事を聞いた時でした。建築士さんも木材業者並みに虐められているのを知ったとき、何か情報を共有出来る手段が無いものかと思っていました。

従来のインターネットのホームページですと、特定の人や、信頼できる方のみには情報を表示すると言うことはインターネットの性質上非常に難しく、又、出来たとしても困難を有する操作が必要で有り、なかなか思うようには行かなかったのが現実でした。

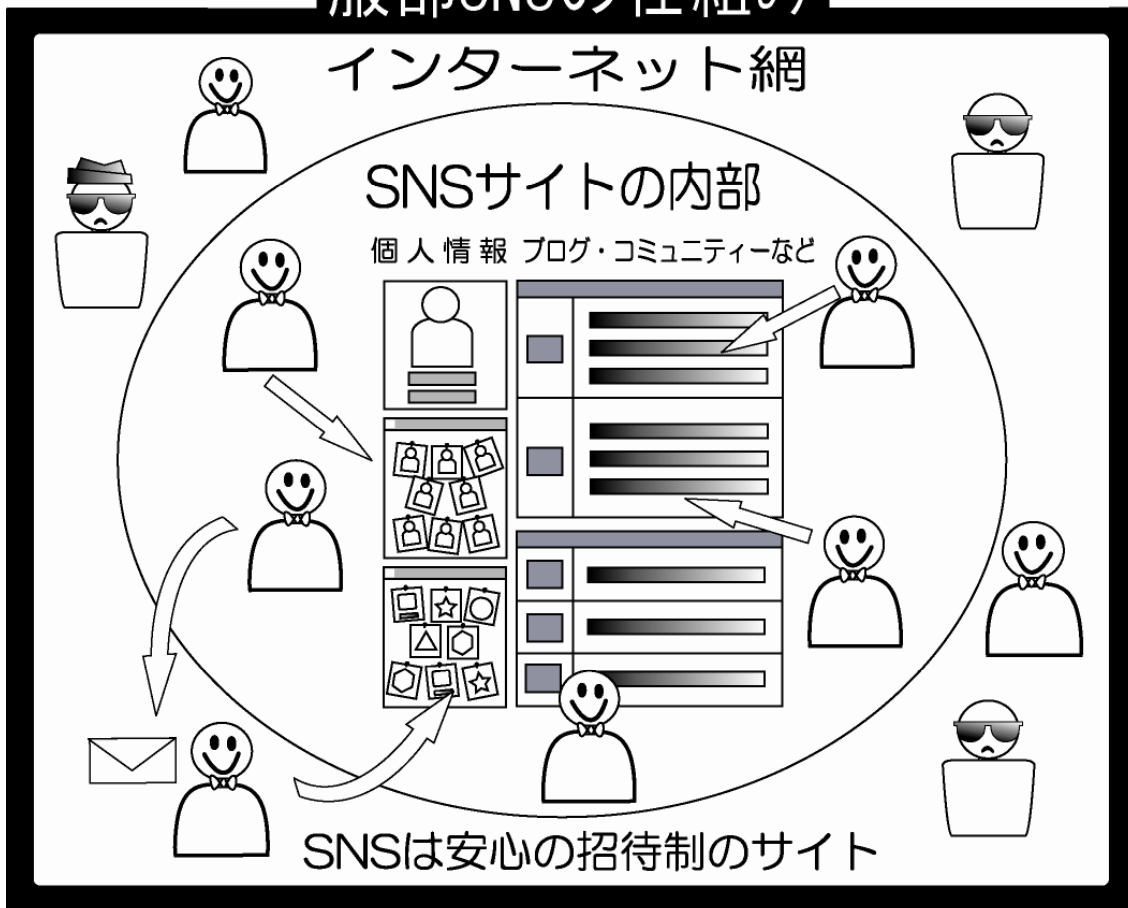
ところがこの SNS では、簡単な操作でインターネット上の隔離された安全な部屋に入り、例えば日記形式で現場の様子をお施主様だけ見たい場合、見れるが、一方利害関係者には見せたくない場合、簡単に制限を掛けられるのがこのシステムの特徴です。

その上、書いた日記に対する意見や問合せも頂ける、まさに双方向の通信手段となるのです。

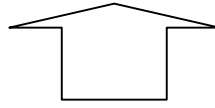
以上は建築士さん向けの話ですが、服部商店の木材を買っていただいて、それを加工して一般消費者の皆様に販売している方も、利用出来ます。その方法は、服部商店の扱っている木材を、言わば自分の在庫として見せて仕事を取っていただけないかと、考えているからです。

それがこの SNS では可能なのです。それを解かりやすく説明しているのが下に有ります。

# 服部SNSの仕組み



**FAX番号072-422-8577**



アンケート 1、 SNS（ソーシャルネットワークシステム）に対して興味がある。

はい

いいえ

アンケート 2、 1の質問ではいの方に入会しても良い

はい

いいえ

お名前	
連絡先ご住所	
お電話番号	
メールアドレス	

(株)服部商店  
服部雅章

2007.10.25